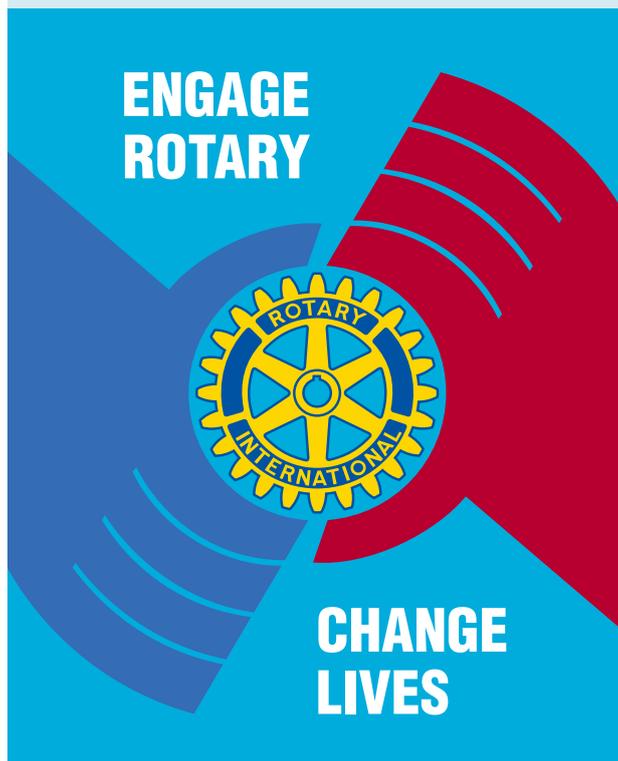


2013 – 2014
June
vol. 12

6



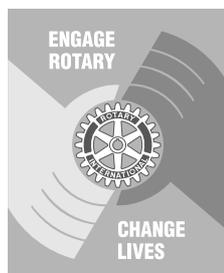
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信6月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

June vol.12

CONTENTS

ガバナーメッセージ（ロータリー親睦活動月間）	1
PETS・地区チーム研修セミナー報告	2
第1組IM報告	3
第5組IM報告	4
社会奉仕委員長会議報告	5
米山奨学生オリエンテーション報告	6
安倍総理大臣を弊社にお迎えして	7
ロータリー財団情報	9
災害支援プロジェクト報告（第35回）	11
米山奨学委員会／ロータリー財団	13
2014年4月度 会員数・出席報告	14
文庫通信	15
敬弔／お知らせ	16

ロータリー親睦活動月間 ～奉仕を通じて親睦を～

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



R Iには「ロータリー親睦活動要覧」というものがあり、ロータリー親睦活動は、共通の職業や関心を持つロータリアンとその配偶者、そしてローターアクターから成る国際的なグループで、各グループによって独自に運営されています。その会員はロータリー親睦活動を通じて楽しみを分かち合い、国境を越えた親睦を深め、一層充実したロータリーの経験を味わうことが出来ます。と記載されています。親睦グループは結成にあたり、R Iの方針に従った上でR I理事会による審査を受けて公式認定を受ける必要もあります。そしてロータリー親睦活動は国際奉仕部門の活動として位置付けられています。

このようなことは、当地区内では余り知られておらず、グループ結成や参加という動きも無いのが実情かと思えます。ご興味のある方は、ウェブサイトでご確認下さい。そこで私は、本来の「ロータリー親睦活動」とは異なった立場で、ロータリアンの親睦について私の考えを述べたいと思えます。

田中作次直前R I会長年度のテーマは「奉仕を通じて平和を」でしたが、私はロータリー親睦活動月間にあって「奉仕を通じて親睦を」という呼びかけをしたいと思えます。この月間は単に親睦活動月間ではなくて頭にロータリーが付いているところが大切ではないかと思えます。ロータリーにおける親睦とは、単に飲食を共にしたり、ゴルフを楽しむことに終始するのとは少し違っていると思えます。

私自身の経験など浅いものでご披露するほどのことではないかも知れませんが、一例としてお示しをしてみ

たいと思えます。私の所属する八尾中央RCは2007-08年度から毎年タイで水プロジェクトを繰り返して来ました。その都度現地バンコクのロータリアンにお世話になり、5回目ともなるとお互いに随分親しみが増します。プロジェクトの成功を喜びながら、時には反省会みたいな時もありましたが、互いに盃を交わし食事を共にします。食事の際には冗談も飛び出し、実に和やかで楽しい時間となります。そしてこの時間は貴重な親睦の機会でもあります。この機会には、八尾中央RCの会員とバンコクのロータリアンの間だけでは無く、共にプロジェクトを実施した地区内の他のクラブのロータリアンとの間の親睦を深める機会ともなります。このような親睦の機会を通じてお互いに心が通じ合うことで、次のプロジェクトの立ち上げはとてもスムーズに運ぶこととなります。このような「親睦」こそ「ロータリーの親睦」では無いかと私は思います。

ロータリーは人と人との出会いの場を色々な形で提供してくれます。私たちはその出会いを大切に、その後のロータリー活動に活かすことを考えても良いのではないのでしょうか。

同じようなご経験をお持ちのロータリアンは多数おられることと存じます。と言うことは、同じお考えの方々も少なくないと思えます。しかし敢えてこのようなことを書かせて頂きました。最後に是非付け加えたいことがあります。皆様のクラブで新しく会員になられた方を、上述のような親睦の機会に是非とも参加させるように仕向けて頂きたいと私は常日頃から考えております。

PETS・地区チーム研修セミナー報告

次年度地区代表幹事

川上富清 (大阪帝塚山RC)

3月29日(土)、2014-15年度の為のPETS・地区チーム研修合同セミナーがハイアットリージェンシーホテルで開催されました。

第一部は午後一時、福家ガバナーの点鐘で開会。泉ガバナーエレクトが、ゲイリーC.K.ホアン2014-15年度RI会長の次年度RIのテーマ、および地区の次年度活動方針について説明されました。RI会長の掲げられたRIのテーマは「Light up Rotary、ロータリーに輝きを」です。暗闇で何もせず、闇を呪っているよりも、たとえ一本のローソクであっても灯りをともして前進しようではないか という孔子の教えを引用され、ロータリアン一人ひとりがローソクを灯せば、世界を光で輝かせることができるのです、と訴えられました。

これをうけて、泉ガバナーエレクトはRI第2660地区テーマとして「一人一人の輝きであなたの地域を輝かそう Light Up Osaka」を掲げられ、また、親睦は石垣 奉仕は城に例えて、ロータリーの運動の基本理念を説明されました。更に、今年度のRIテーマ実現の一つのたてとしてロータリーデーの実施を掲げられました。

続いて、ロータリー財団委員会、米山奨学委員会、危機管理委員会より報告があり、小島次年度地区財務委員長

より次年度地区予算について説明があり、第一部のプログラムを終了しました。

第二部はPETSと地区チーム研修セミナーが、別々の会場で開催されました。

PETSでは、まず地区研修リーダー井上PGから「クラブリーダーとしての役割」と題して、つぎに地区研修サブリーダー大谷PGより「クラブの輝きは会長から～会長としての基礎知識～」と題して講演をいただきました。その後、IM毎に分かれて、事前アンケートをもとにガバナー補佐エレクトの指導の元に会長エレクトの意見交換が活発に行われました。

地区チーム研修セミナーでは、まず地区研修サブリーダー岩田PGから「委員会の役割と責務」と題して講演をいただきました。その後、部門別に分かれてセミナーが開催されました。今回は、地区研修協議会での部門別協議を前提に、五大奉仕部門と財団、米山の7部門に分かれて研修が行われ、後半では地区研修協議会での研修の進め方について協議がもたれました。

セミナー終了後、再度会場に集合し、立野GN、松本GNDからの挨拶があり、泉GEから総括・閉会挨拶があって、福家Gの閉会点鐘で無事、全てのプログラムを終了致しました。



第1組インターシティ・ミーティング報告

箕面RC 会長

上島一彦

テーマ：グローバル人材を育てる

R1第2660地区第1組IMに、ご多忙の中をご参加賜り、ホストクラブを代表して感謝申し上げます。

さて、一般的な日本人は中学・高校・大学と10年間も英語教育を受けていますが、その英会話力は極めてお粗末な状況です。

欧米先進諸国では多言語が飛び交い、殆どの人が普通に2～3か国語を話しているほか、最近では近隣アジア諸国の学生達も、かなり流暢な英会話力を身に付けています。

多くの日本人が英会話に馴染んでいない理由として、普段から日本語のみで不自由は無く、英語を使う必要性が乏しいことや、従来の英語教育が「読む、聞く、書く、話す」の4技能にバランス良く取り組んで来なかった事などが挙げられます。

特別講演の講師である中原徹氏は、日本で弁護士を経

験した後、米国のロースクールに留学、現地の大手法律事務所でも共同経営者を務める等、国際社会に生きる職業人としての手腕を高く評価された方です。

その後、府立和泉高校では、最年少の民間校長として、3年間勤め、プレゼンテーション力を養成する授業、平和と国防を考える授業、近現代史教育など、教育界のタブーに挑戦し、日本人としての誇りを持つ「グローバル人材の育成」に御尽力されました。

大阪府の教育長に就任後、全国最下位レベルの大阪の教育力を立て直し、「使える英語プロジェクト事業」など、英語教育改革の推進に、現在も力強く取り組んでおられます。

また、懇親会では気分を変えて、大阪大学ペリーダンスサークル・ハラワートによる、華麗で洗練されたステージをお楽しみ頂きました。



第5組インターシティ・ミーティング報告

大阪中央RC 会長 **辻川功一**
IM実行委員長 **笹木秀雄** (大阪中央RC)

テーマ：一人一人がロータリーを実践し感動しよう!!
～クラブ活性化のための戦略計画、あなたのクラブは?～

ホストクラブ：大阪中央ロータリークラブ

日時：2014年4月5日(土) 14:00～18:00

場所：ホテルグランヴィア大阪

出席者：179名

今年度の第5組IMは「ロータリー情報や奉仕活動について話し合うとともにIM所属会員相互の親睦をはかる」という原点回帰のインターシティミーティングにしよう、事前に各クラブにアンケートを実施し、資料の提供などのご協力を頂きました。暗中模索ではありましたが、当日は多数の皆様が参加を得て、主催者福家ガバナーの点鐘により開会致しました。

本会議の第一部では「クラブ活性化への取り組み」として成果を上げておられる3クラブ(大阪北RC、大阪リバーサイドRC、大阪ユニバーサルシティRC)のクラブ会長によるプレゼンテーションにより、奉仕活動や感動体験をビデオや映像で紹介して頂き、その後朝日放送アナウンサーによるインタビューで、より詳しくお話し頂きました。

第二部では「活力あるクラブ作りと戦略計画」をテーマにディスカッションを行いました。川崎壽ガバナー補佐をモデレーターに、12クラブの会長から最近の奉仕プロジェクトによる感動体験や会員増強、例会運営、

例会出席率向上などについて報告を頂きました。ステージ前面のスクリーンに発言者の顔を映し出すという手法を使い、客席にも臨場感を伝えました。各会長のお話は解りやすく、近隣クラブの状況を知り、情報交換し合う有意義な企画であったと思います。

引き続き行われた懇親会では横山PGの紹介により泉GE、松本GNDからスピーチを頂きました。

また、緒方満IM第5組ガバナー補佐エレクトおよび12クラブの会長エレクトにご登壇いただき、次年度の抱負をお聞き致しました。最後に福家ガバナーより「今回のIMに新鮮さを感じた」とのお言葉をいただきました。

当日配布のプログラム冊子には、式次第のほか12クラブの各会長方針と各クラブの最近の活動報告を紹介するとともに「IM第5組活力あるクラブづくりのためのアンケート」の集計結果を掲載しました。

開催にあたりご協力いただきました各クラブの皆様には改めまして、こころから感謝申し上げます。



第2回クラブ社会奉仕委員長会議報告

社会奉仕委員会 委員長

西宮富夫 (箕面RC)

2014年4月26日(土) 2時より、大阪科学技術センターにて第2回クラブ社会奉仕委員長会議を開催し、成功裏に終了いたしましたことをご報告いたします。

まず、福家宏ガバナーより、ロータリークラブは毎年単年度で完了する社会奉仕プロジェクトを義務付けられています。地域のニーズに真に込んでいる社会奉仕は、受益者に喜びと感動を与えることができ、認知度の向上や会員増強にもつながり、そのまま会員研修であるといえることから、ロータリー戦略計画の3つの優先事項(クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上)のいずれにも関わるとの激励のご挨拶をいただきました。

次に第2520地区復興支援特別委員会委員長・地区研修リーダーの笹氣光祚バスターには「震災復興その後」について講演していただきました。まず「震災後の宮城県の経済情勢」というテーマで全体的にお話ししていただき、その後多くの話題にふれられましたが、現在、被災地では子供新聞を作る、高齢者の話し相手になるなどのいろんなボランティアが活発ですが、資金不足のことが多いので、ロータリーの社会奉仕活動として共同で行うことも考えているとのことでした。

なお、震災後3年経った今は、ちょうどメチャクチャになった家の中を片づけ、これから家を昔のように直すのか、改造して一新するのがいいのか、考えているところで、これからもまだまだ支援していただきたいとお

話でした。

第2660地区補助金小委員会委員長・災害支援プロジェクト委員会副委員長の宮里さまには当地区の災害支援について講演していただきました。現在地区災害復興基金は100万円ほどになっており、東日本大震災の支援プロジェクトにはロータリー財団の地区補助金を主に活用していただきたいとお話がありました。

第3ゾーンロータリーコーディネーター・当地区研修リーダー井上バスターには「決議23-34(社会奉仕に関する1923年の声明)」について講演していただきました。1918年ごろから理論派と行動派の大論争があり、ロータリー分裂の危機もあったが、この危機を救ったのが1923年セントルイス国際大会にナッシュビルクラブが提案した第34号の決議であり、歴史的な価値をもつとのことでした。また、ロータリーの「奉仕の1世紀」には1923年の画期的な出来事として、決議案34号を採択し、奉仕プロジェクトに関するクラブの自立性についてのロータリーの方針を確立したことが記述されているとのことでした。

最後に泉博朗ガバナーエレクトから会議の総括していただきました。その中で東日本大震災を風化させないようクラブ社会奉仕委員長の皆様に激励がありました。また、クラブの社会奉仕活動に若い人の支援がほしい場合、ロータリーサポートシステムを活用してほしいとのことでした。



講演者：
R | 第2520地区復興支援特別委員会委員長
笹氣光祚バスター

米山奨学生 オリエンテーション報告

米山奨学委員会 委員

口野 孝 (大阪東RC)



日 時：2014年4月8日(火)

会 場：ヴィアール大阪

参加者：泉ガバナーエレクト、若林地区米山奨学部門顧問、立野ガバナーノミニ一、磯田地区研修委員、西谷地区米山奨学委員会委員長、近藤地区米山奨学委員会副委員長、福田地区米山奨学委員会副委員長、地区委員、米山学友、新規米山奨学生、世話クラブ米山委員長、カウンセラー、次年度米山奨学委員会委員、西本地区青少年活動委員長、西垣ライラ実行委員長 他

本年度の米山奨学生として選考委員会に合格した奨学生を対象に、新年度最初の行事であるオリエンテーションが開催されました。最初に、若林米山奨学部門顧問による開会の挨拶がありました。皆さんは、3倍近い競争の中から選ばれた優秀な奨学生であり、米山奨学の理念である勉学に勤しみ、そして日本を理解し、母国との関係がより一層良化され、引いては世界の平和に貢献できる人材に成長して頂きたいとお話があり、続いて各テーブルごとに、世話クラブの紹介と奨学生の自己紹介等があり、その後、各クラブを経由して委員会へ提出する確約書の作成をして正式に米山奨学生として誕生しました。

続いて、西谷委員長から奨学生に対し、本年度は25名の新奨学生と継続の12名合計37名の奨学生が本年度の支援をさせていただきます、皆さんは米山奨学会の心得、米山奨学会の意義、そして将来のロータリアンとして世界平和に貢献して貰いたいとお話と、この奨学金はロータリアン1人1人が自分のポケットマネーから寄付しているのであり、良く理解し有効に役立ててもらいたいとお話がありました。その後地区青少年活動委員会からRYLAのお知らせがあり、質疑応答の後、第一部

は終了し、会場を移動し、第2部のオリエンテーションのスタートです。

第2部は、泉ガバナーエレクトの発声による乾杯でスタート、米山記念奨学事業の意味、米山は日本独自の組織であり、日本の中の34地区が支援をしており、民間では日本最大の奨学生支援制度であり、米山梅吉さんは、平和日本を世界への、信念でいろんな分野に寄付をして貢献されているとお話があり、その後いよいよ、懇親会が始まりました。お寿司、おそば、洋食の数々とアルコールも入りそれぞれのテーブルで話が盛り上がり、奨学生も緊張から解放され、お世話役の各クラブのカウンセラーの皆さんと打ち解けられ会場も最高潮の盛り上がりになりました。

続いて、奨学生の自己紹介並びに将来への抱負、希望等の発表が力強くなされました。新入生の発表が一通り終了後は飛び入りで、継続生が1人ずつ壇上で経験談を話しておりました。

その後、米山奨学生学友会会長、何玉翠氏より学友会の説明と勧誘の説明があり、最後に近藤副委員長からの閉会のあいさつでオリエンテーションが無事終了となりました。



安倍総理大臣を弊社にお迎えして

株式会社興国鋳鋼所

村橋義晃 (大阪中之島RC)

弊社来訪の詳細が正式確定したのは、来訪日2日前の4月16日。

本年3月頃から近畿経済産業局のヒアリングを何度か受け、業界の現況や問題点等、私見を含めてお話してきました、この頃から水面下での準備が進められていた様です。

何度かのヒアリングの答えは何時も同じ内容でしたが、経済産業局の担当課長から「経済産業局の上層部に直接お話して下さいますか?」と、そして、4月4日に近畿経済産業局長が来社され、同じ持論をお話させて頂いたところ「今の内容を直接、政府要人にお話して頂けますか?」「その政府要人は安倍総理です」「総理の大阪入りは極秘扱いです、又、直前まで変更の可能性があります」「くれぐれも他言無きようにお願いします」等の会話の後、準備が一気に進んでいく事になりました。

4月11日には、経済産業省、中小企業庁、近畿経済産業局、大阪府警警備本部、西淀警察署等、総勢約20名との事前打合せを行い、それから連日、現場確認、構内動線確認、車両動線確認等があり、現職の総理大臣が民間企業を訪問するということが如何に大掛りな事か、初めて間近で見る展開に興味深々、好奇心が湧き立ちました。

当初、弊社の滞在時間は30分間の予定でしたが、4日前に20分間に変更、2日前には、15分間に短縮、移動時間や警備上の問題で、分刻みのスケジュールは直前まで確定されませんでした。

当日の警備要員は、首相官邸SP5名、大阪府警警備本部から約20名、所轄の西淀川警察署から約40名、随行者は、中小企業庁長官をはじめ、経済産業省、近畿経済産業局等から約10名、報道関係者が約20名、そして、地元大阪の自民党代議士、自民党大阪府議、市議等、総勢100名を超える来訪者で弊社周辺は騒然とした雰囲気でした。

そして、定刻3分前の15時57分に前後7台の車列中央の総理専用車が到着、出迎えた私に握手を求められ「村橋さん、今日はお世話になり、有難うございます」とご挨拶頂き、真っすぐ工場内へ、与えられた15分間、安

倍総理と一対一の対話が始まりました。

対話は、以下の3点をテーマに稼働中の工場を背景に立ち話で行いましたが、何処まで踏込んだ話をして良いのか、限られた時間内に全ての話が出るのか、様々な思いが交錯した15分間でした。

対話は、立ち話故に非常に近い間合いで行われましたが、謙虚な姿勢でお聞き頂き、良く理解して下さったと思います。又、私の言葉が過ぎた感もありましたが、心地よい良い内容ばかりの対話よりは、印象に残る企業視察をして頂けたかと思えます。

爽やかで気さくなお人柄に接し、生涯に二度と無い貴重な体験をさせて頂きました。

そして、この機会を与えて下さった所轄官庁の関係各位に感謝申し上げます。

3点のテーマ要旨

①電力問題

昨年4月から関西電力の値上げが実施され、弊社の場合、特別高圧電力の契約にて2万ボルトを受電する電力多消費型産業であり、電力料金が売上高の10%を超える事態となり、収益を圧迫している。又、電気炉において金属を溶解する初期工程では、短時間に多大な電力消費を伴い、この間のピーク電力が基本料金に反映され、電力料金の内、基本料金が6~7割を占める異様な料金体系となっている。

国内電力会社は、需要家の業態に適した選択可能な多様性有る契約メニューを提供する必要が有り柔軟な電力政策をお願いしたい。

これらの電力問題に対して、総理からは更なる自由化を含め柔軟な電力政策を進めていきたいとのコメントがありました。

②人材問題

製造業の職場が3K(危険、汚い、きつい)の職場と言われ、若者の製造業離れが続いているが、最近の人手不足と相乗して求人難が顕在化、人材の確保が益々困難となり、将来への固有技術継承、技能伝承の障壁となって

いる。

少子高齢化、生産人口の減少が国内問題として顕著となり、既成の国内人材需給のみでは、国内生産能力の低下が懸念される。

この問題に対しては、女性の活用、技能や経験が豊かな高齢者の活用、そして外国人実習制度の緩和等を進めていくとの見解を示されました。

③中小製造業の現況

アベノミクス効果により、大手企業を中心に収益状況が急回復しているが、関西の中小企業、特に基礎産業である素材材メーカーは厳しい業況から好転していない。

大手企業と中小企業との業績回復時期には、時間差があると思われるが、回復の実態が反映された大手製造業

と回復が遅れている中小製造業の二極化が顕著になっている。

国内産業の基盤となっている中小企業の弱体化は、我国の産業構造の根底が崩壊するリスクを含んでいる。

これらの現況をお聞きになり、我国の産業基盤である中小企業の重要性を改めて認識したと述べられました。

以上の対話シーンの一部は、首相官邸ホームページに動画にてアップされています。下記URLをご参照下さい。

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg9706.html?c=01&a=1>

http://www.youtube.com/watch?v=VlqViimY_WM

安倍首相が、先週18日、来阪し中小企業を訪問した。女性の社会での活躍を推進する安倍首相は、出産などで離職した女性の職場復帰を積極的に「ダイバーシティ経営（性別や国籍などの異なる多様な人材を活用する経営）企業100選」に選ばれた天産産業（本社・大阪市住之江区、社長・樋口友夫氏）を視察した。同社では20分ほど滞在し女性社員と懇談。安倍首相は大学卒業後、3年間、神戸製鋼所に勤務していただけに樋口社長が工場内案内するのと「鉄鋼業界の用語を

安倍首相、関西の中小企業視察

天産産業で女性社員と

天産産業 女性社員の積極活用や 興国鑄鋼所 大手との2極化実態など

久しぶりに聞き、思い影響や、ものづくりの基礎産業である中小鑄物産業の現状などについて視察した興国鑄鋼所。村橋社長と会談した安倍首相は、関西地区の中小ものづくり企業は、景気回復の実感に乏しい。大手との二極化している。また、求人難や技能継承問題なども改善できず、このままでは賃上げを実施した大手企業との格差は広がる一方だ、という村橋社長の声に耳を傾けた。

その後、門真市で会見した安倍首相は「日本経済を支えているのは中小企業だ」と実感し、澁川区、社長・村橋義太と述べ、景気下支えに取組む考えを強調した。

興国鑄鋼所で村橋社長と



鉄鋼新聞 2014年4月22日付 3面

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

シェア会議報告

2014-15年度のためのDDFシェア会議が2014年3月25日、福家ガバナー、泉ガバナーエレクト、本年度及び次年度地区財団部門各小委員会委員長、グループリーダー、西宮地区社会奉仕委員長、栗原地区国際奉仕委員長、安井次年度地区国際奉仕委員長、溝畑地区財団委員長が出席し、ガバナー事務所会議室において開催されました。

2014-15年度に使用できる資金は、寄付に基づくDDFが\$319,687.11(3年前の年次基金、これに恒久基金収益約\$20,000、2013-14年度の繰越金予想額約\$40,000が加算された金額となります。

支出として、寄贈分野でポリオに\$10,000.00、ロータリー平和センターに\$10,000.00、DG1518887(地区補助金)に\$171,209.00、GG・奨学生のためのDDFに\$50,000.00、GG・人道的国際奉仕のためのDDFに\$100,000.00、GG・VTTのためのDDFに\$20,000の配分が決まりました。

第2660地区 2013-14年度

ロータリー東日本震災復興基金補助金承認

1. 大阪リバーサイドRC

実施場所：宮城県本吉郡南三陸町歌津中山34
名足小学校グラウンド

プロジェクト内容：小学校へ物置小屋2棟の寄贈

大阪リバーサイドRC 拠出金額：¥62,360

補助金承認金額：¥512,360

2. 大阪船場RC

実施場所：岩手県遠野市

プロジェクト内容：活動用中古車の寄贈

大阪船場RC 拠出金額：¥500,000

補助金承認金額：¥800,000

3. 大阪うつぼRC

実施場所：宮城県名取市閑上地区

プロジェクト内容：「閑上復興だより」事務局本部
立ち上げの為に備品の寄贈

大阪うつぼRC 拠出金額：¥100,000

補助金承認金額：¥400,000

4. 大阪東RC

実施場所：宮城県気仙沼市唐桑只越

プロジェクト内容：只越地区高台移転に伴う
バス停屋根の設置

大阪東RC 拠出金額：¥500,000

補助金承認金額：¥2,000,000

財団ゾーン研修報告

2014-15年度ロータリー財団ゾーン・チーム研修が2014年3月22日(土)、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。

全体会議：13:00~15:00

ゾーンチーム研修：15:00~17:00

懇親会：18:00~19:30

全体会議では、

1. 次年度財団目標と資金推進の重要性

第2ゾーンRRFC 江崎柳節

2. グローバル補助金事業

2-1. 財団奨学生の派遣 RI 第2650地区

ロータリー財団委員長 大塚紀夫

2-2. デンタルVTTの派遣 RI 第2500地区

VTTチームリーダー 森山昌彦

2-3. 人道的プロジェクト RI 第2660地区

ロータリー財団委員長 溝畑正信

3. 地区補助金事業

RI 第2770地区

ロータリー財団部門委員長 井原 實

4. 財団の使命と地区補助金の用途との関係

RI 第2710地区 ロータリー財団委員長 伊賀訓之

5. E/MGAの役割

第2ゾーン E/MGA 田中徳兵衛

その後、1~3ゾーン別にゾーンチーム研修が行われ、

①補助金管理セミナー

- ②地区補助金の審査方針
- ③グローバル補助金のオンライン申請について
- ④基金推進の重要性について
- ⑤寄付ゼロクラブをなくすには
- ⑥ロータリーカードの普及
(カード・コーディネーター)
- ⑦EPNの最新情報(ポリオ撲滅コーディネーター)
- ⑧ロータリー平和フェロー
(ホストエリアコーディネーター)

その後、懇親会が開催されました。

第2660地区溝畑正信財団委員長(東大阪東RC)は全体会議において「人道的国際奉仕活動 グローバル補助金申請のヒント」で講演しました。

<ポリオ症例数> 2014年5月6日現在のポリオ症例数

	2014年1月1日~5月6日	2013年(通年)	
パキスタン	59	93	
アフガニスタン	4	14	
ナイジェリア	2	53	
エクアトリアルギニア	3	0	
ポリオ常在国以外	イラク	1	0
	カメルーン	3	4
	ソマリア	0	194
	シリア	1	35
	エチオピア	1	9
	ケニア	0	14
	世界合計	74	416

【バリ共同】

世界保健機関(WHO)は5月5日、パキスタンやシリアなど10カ国でポリオの感染が拡大傾向にあり、国境を越えて広がるケースも出ているとして「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言、各国に予防接種の徹底など警戒を呼び掛けた。

WHOによると、13年のポリオの感染者は世界で416人。今年は既に74人が感染し、うち多くがパキスタンでの感染という。

今年に入り、パキスタンからアフガニスタン、シリアからイラク、カメルーンから赤道ギニアに国境を越えて感染が広がるケースがみられた。

WHOは「このままでは、ポリオ根絶は失敗に終わる」と警告、国際社会が連携して問題に取り組むよう訴えた。

災害支援プロジェクト報告 (第35回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年5月15日現在)

【収入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前月からの繰越	3,375,580	
34	茨木RC	50,000	
	合計	3,425,580	

【支出】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
15	茨木RC 東北心のケアプロジェクト	500,000	地区基金申請No.59
16	振込手数料	400	
17	大阪西南RC 石巻湊地区高齢者被災障害児童への教育支援	400,000	地区基金申請No.60
18	振込手数料	400	
19	大東中央RC 女川小学校 ICT機器支援	225,500	地区基金申請No.61
20	振込手数料	100	
21	第2660地区 第2520地区 被災地大船渡漁港に軽トラック2台寄贈	570,000	地区基金申請No.62
22	振込手数料	400	
	合計	1,696,800	

【残高】

(単位:円)

預金残高	1,728,780	2014年5月15日現在
------	-----------	--------------

3. 災害支援の報告

プロジェクト概要 茨木ロータリークラブ

プロジェクト名：東北 心のケアプロジェクト

実施場所：茨木市青少年野外活動センター及び大阪市内観光

実施期間：2014年8月9日～12日(見込み)

受益者：石巻に住む小学生(高学年)20名

概略：親、兄弟、姉妹を亡くされた小学生を対象にして“心のケア”を行う。茨木市青少年野外活動センターにて、茨木市の小学生と共にキャンプ等を通じて交流を図り、東日本大震災への認識と各プログラムを通じた経験を活かして被災者達に今後の人生に活かしていただく。

プロジェクト概要 大阪西南ロータリークラブ

プロジェクト名：石巻市湊地区被災高齢者並びに被災障害児童への教育支援

実施場所：宮城県石巻市湊町3-5-7-105 ものづくり工房 COCOA

実施期間：2014年9月25日～10月19日（見込み）

受益者：石巻市湊地区在宅被災者約200名及び被災障がい児童とその家族約20名

概略：行政の復興支援の進む中、石巻市湊地区では在宅被災者が多く居住し、中でも高齢者や障がい児とその家族が残された地区でもあります。「ものづくり工房 COCOA」は、彼らのコミュニティーの場が欲しいとのニーズに対応して、場の提供と支援活動をしています。今回の支援活動は、ご高齢者や障害児に対しての書籍の寄贈や活動維持のための広報ツールであるPCを提供することで、被災者目線での復興支援活動を行いたい。

プロジェクト概要 大東中央ロータリークラブ

プロジェクト名：宮城県牡鹿郡女川町立女川小学校 ICT 機器支援

実施場所：宮城県牡鹿郡女川町立女川小学校

実施期間：2014年5月20日～6月10日（見込み）

受益者：宮城県牡鹿郡女川町立女川小学校児童282人＋今後入学する児童

概略：震災による子ども達への心身への影響が、学習意欲の低下をきたし、学力の低下をもたらすことが懸念されています。ICTを導入した授業展開をすることにより、理解力と授業への関心を高めることができる。

プロジェクト概要 RID2660 災害復興支援プロジェクト委員会

プロジェクト名：被災地大船渡漁港に軽トラック2台寄贈

実施場所：岩手県大船渡市赤崎町字蛸ノ浦68

実施期間：2014年4月末～6月（見込み）

受益者：大船渡漁業組合に所属する漁業従事者

概略：現在、漁協の組合員や漁民が負担している保冷用氷の運搬、および海中から撤去した瓦礫の輸送手段として軽トラックを寄贈し、一日も早い漁協復興を支援する。

当該プロジェクトは、併せてロータリー財団東日本震災復興基金を申請するものである。

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 3月末	全国寄付金合計額	1,127,021,135円	(前年同期比2,094万円増)
	第2660地区寄付金合計額	70,301,750円	(前年度比10.75%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2650地区	80,035,221円
		2. 第2660地区	70,301,750円
		3. 第2750地区	68,400,452円
		4. 第2760地区	61,221,545円
		5. 第2590地区	56,818,430円
		6. 第2770地区	53,919,950円
		7. 第2580地区	49,688,650円
		8. 第2820地区	39,966,500円
		9. 第2780地区	39,082,570円
		10. 第2620地区	37,929,378円

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2014年3月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
丸山 和豊	1	守ロイブニングRC	作本 貞子	2	大阪城東RC	市田 芳一	4	大阪心齋橋RC
金丸 大介	1	守ロイブニングRC	岡部 倫正	1	大阪城南RC	高島 凱夫	10	大阪中之島RC
後藤 正伸	2	守ロイブニングRC	西宮 祥行	1	大阪心齋橋RC			

米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2014年3月)

クラブ名	回数	クラブ名	回数
大阪心齋橋RC	32	大阪中之島RC	13

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2014年3月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
檜皮 悦子	大阪中之島RC	辻 光次郎	大阪帝塚山RC	川口 清	寝屋川RC
博多 尚文	守口RC	山中 昇司	守ロイブニングRC	小倉 雅男	寝屋川RC
塩中 一成	大阪帝塚山RC	元古 隆司	守ロイブニングRC		

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2014年3月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
北村 公一	1	豊中RC	江端 将哲	1	守口RC	清川 忠義	1	大阪帝塚山RC
横田 広司	1	豊中RC	早原 瑛	2	大阪帝塚山RC	後藤 正伸	1	守ロイブニングRC
簡 仁一	5	茨木RC	西田 敦宜	4	大阪帝塚山RC			
辻村 弘	3	守口RC	武田 秀孝	3	大阪帝塚山RC			

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2014年3月)

氏名	クラブ名
広瀬 芳和	大阪鶴見RC

2014年4月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	4月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	73.61	70.14
	池田くれは	28	30	1	3	1	2	4	87.84	86.77
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	88.68	85.58
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	4	91.11	89.55
	豊中	45	46	4	2	1	1	3	71.11	64.44
	豊中南	28	29	2	2	1	1	3	84.40	74.29
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	1	1	0	4	75.46	75.46
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	90.63	79.39
	小計	243	251	14	15	7	8		82.86	78.20
	I M 第2組	茨木	25	27	3	2	0	2	4	88.23
茨木東		39	40	4	2	1	1	4	76.64	61.55
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	88.89	75.89
千里		38	39	0	1	0	1	4	80.77	70.96
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	95.18	86.75
摂津		37	37	2	0	0	0	4	81.34	76.78
吹田		60	59	10	3	4	-1	4	97.78	88.92
吹田江坂		34	33	2	0	1	-1	4	97.49	82.37
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	88.35
高槻		51	51	6	2	2	0	4	82.94	76.95
高槻東	36	38	2	2	0	2	4	91.00	82.82	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	96.43	82.14	
小計	437	445	39	17	9	8		89.72	79.19	
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	4	100.00	90.41
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	87.49	79.16
	枚方	40	43	0	9	6	3	4	92.32	84.17
	門真	30	32	6	3	1	2	4	91.13	83.07
	交野	32	35	1	3	0	3	4	85.53	73.95
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	87.50	68.75
	くずは	52	52	0	2	2	0	4	79.73	62.57
	守口	42	41	4	0	1	-1	4	76.13	68.60
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	86.12	70.37
	寝屋川	42	42	5	1	1	0	4	95.84	76.79
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	93.94	93.94	
小計	362	371	31	21	12	9		88.70	77.43	
I M 第4組	東大阪	70	75	0	6	1	5	4	86.40	78.80
	東大阪中央	33	30	0	0	3	-3	4	88.83	77.58
	東大阪東	55	61	4	6	0	6	4	86.39	73.74
	東大阪みどり	30	27	0	0	3	-3	4	77.78	68.52
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	4	94.33	63.40
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	4	92.17	87.86
	大阪ネクスト	19	18	7	0	1	-1	4	72.22	51.39
	八尾	60	60	0	2	2	0	4	75.18	72.39
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	4	88.65	78.85
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	79.17	71.78
小計	370	376	14	17	11	6		84.11	72.43	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	4月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	49	6	6	3	3	4	91.97	77.63
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	4	81.25	65.17
	大阪北	197	191	0	9	15	-6	4	75.18	64.46
	大阪北梅田	50	52	4	4	2	2	3	76.47	66.67
	大阪西	75	76	0	2	1	1	3	87.96	81.34
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	88.19	79.86
	大阪リバーサイド	34	36	6	4	2	2	4	87.88	75.67
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	4	89.58	80.91
	大阪そねざき	35	36	22	3	2	1	4	98.60	83.65
	大阪梅田	25	23	1	0	2	-2	4	90.35	78.48
大阪梅田東	25	35	0	12	2	10	4	87.60	72.71	
大阪ユニバーサルシティ	32	35	5	3	0	3	3	82.83	79.80	
小計	632	653	45	51	30	21		86.49	75.53	
I M 第6組	大阪	257	269	1	22	10	12	4	76.65	58.96
	大阪東	117	120	0	9	6	3	4	94.65	78.09
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	1	1	0	4	85.71	71.43
	大阪城東	43	42	5	3	4	-1	4	85.63	78.74
	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	4	90.73	75.92
	大阪大手前	35	34	5	2	3	-1	4	88.75	74.72
	大阪城北	49	47	3	3	5	-2	4	80.75	74.90
	大阪天溝橋	68	66	0	3	5	-2	4	80.83	79.12
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	4	79.54	71.83
	大阪淀川	28	30	3	3	1	2	4	97.49	83.02
新大阪	32	34	1	3	1	2	4	91.18	88.24	
小計	718	731	23	51	38	13		86.54	75.91	
I M 第7組	大阪フレンド	25	28	4	4	1	3	4	91.74	78.11
	大阪御堂筋本町	61	60	3	2	3	-1	4	87.28	75.88
	大阪南	144	156	0	19	7	12	4	85.01	73.07
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	3	89.65	80.71
	大阪なにわ	25	25	3	2	2	0	4	90.66	84.49
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	85.71	85.71
	大阪西南	98	100	21	5	3	2	4	94.58	71.29
	大阪船場	39	40	2	2	1	1	4	96.00	83.75
	大阪心斎橋	33	38	0	5	0	5	4	97.35	84.36
	大阪うつぼ	33	33	3	1	1	0	4	93.95	85.57
小計	519	547	39	46	18	28		91.19	80.29	
I M 第8組	大阪平野	32	30	2	1	3	-2	4	100.00	84.82
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	87.23	77.88
	大阪城南	53	52	0	4	5	-1	4	94.75	90.53
	大阪咲洲	18	17	1	1	2	-1	5	75.55	66.66
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	4	86.86	80.61
	大阪帝塚山	53	52	4	2	3	-1	4	86.86	75.36
	大阪東南	50	50	0	3	3	0	4	96.00	65.83
	大阪アーバン	23	25	7	4	2	2	4	93.00	88.00
	大阪みおつくし	34	28	16	6	12	-6	4	67.85	65.26
	小計	333	325	33	23	31	-8		87.57	77.22

合計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率

文庫通信 (320号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- 「ロータリー活動で感じたこと」 田中作次 2014 5p (D.2550月信)
- 「日本ロータリーの精神伝統 その1・2」
深川純一 伊丹R.C. 2010 2p (純ちゃんのコーナー Part IX)
- 「ロータリーの伝統 その1～3」
深川純一 伊丹R.C. 2013 3p (純ちゃんのコーナー Part XII)
- 「少会員クラブの運営に思うこと」 安孫子貞夫 2014 1p (D.2800月信)
- 「ロータリアンその使命と魅力」 大迫三郎 2013 3p (D.2730月信)
- 「ロータリーの原点とは？」 本田博己 2013 3p (D.2840月信)
- 「ロータリー理解推進月間によせて“温故知新”奉仕の理想など」
諏訪昭登 2014 1p (D.2710月信)
- 「ロータリー・ファミリーの素晴らしさ」 飯村慎一 2013 1p (D.2550月信)
- 「あの素晴らしいMR.ハリスと世界を変えたそのクラブ」 R.I. 肥爪彰夫訳 2012 15p
- 「驚くべきポリオの話！(ロータリーの冒険)」 R.I. 肥爪彰夫訳 2013 15p

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

お知らせ

■2016年度規定審議会の代表議員及び補欠代表議員変更

2014年2月22日(出)、国際ロータリー第2660地区の2013-14年度地区大会本会議において、2016年規定審議会の代表議員としてバストガバナー 新谷秀一氏、補欠代表議員としてバストガバナー 横山守雄氏を選出することを決議いたしました。新谷代表議員の業務上の都合の為、2014年4月19日(出)の2014-15年度のための地区研修・協議会において、代表議員にバストガバナー 横山守雄氏、補欠代表議員としてバストガバナー 大谷透氏を選出することを決議いたしました。

■ビジターフィー変更

大阪梅田ロータリークラブ (2014年4月より)

現行：4,800円 → 変更後：5,000円
(ヘルシーメニュー：3,500円については変更ございません)

大阪心斎橋ロータリークラブ (2014年5月より)

現行：4,300円 → 変更後：4,500円
最終例会日 現行：3,300円 → 変更後：3,500円

大阪北ロータリークラブ (2014年5月14日より)

現行：4,200円 → 変更後：4,300円

■メールアドレス・ホームページアドレス変更

くずはロータリークラブ

新メールアドレス info@kuzuha-rc.jp
新ホームページアドレス http://www.kuzuha-rc.jp/

■例会場変更

東大阪西ロータリークラブ (2014年7月7日より)

シェラトン都ホテル大阪 TEL：06-6773-1111

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー 福家 宏
地区代表幹事 山田 正雄
地区副代表幹事 中井 敬和
事務局長 栗正 久美
事務局員 春名 志保
奥田 純子
井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

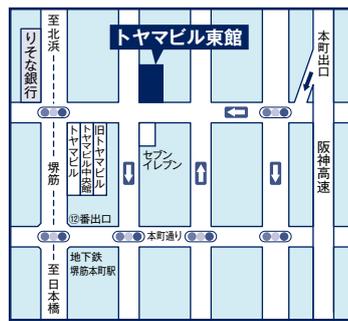
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp